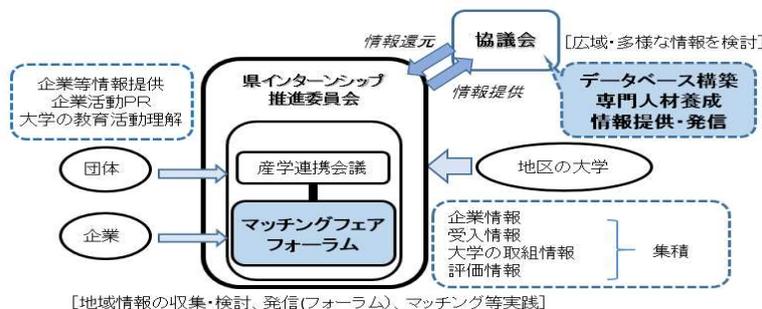


「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」  
 「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」  
 最終評価結果

大学グループ名	新潟大学グループ
取組名称	産学連携によるインターンシップ等の情報発信と専門人材養成
地域インターンシップ推進組織名	関越地域インターンシップ推進協議会（新潟・千葉・埼玉・茨城）
取組担当者	新潟大学農学部 農学部長 渡邊 剛志
連携校名（★幹事校）	茨城大学、★新潟大学、共栄大学、駿河台大学、聖学院大学、西武文理大学、ものづくり大学、敬愛大学、千葉科学大学、千葉商科大学、新潟工科大学、新潟青陵大学、植草学園短期大学、聖徳大学短期大学部、新潟青陵大学短期大学部 [ 茨城キリスト教大学 ] （計 16 校）
連携したインターンシップ等支援組織等名（団体名・企業名等）	関東経済産業局、一般社団法人新潟県経営者協会、新潟経済同友会 新潟商工会議所、一般社団法人新潟県電子機械工業会 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会、一般社団法人埼玉県経営者協会 埼玉経済同友会、埼玉県中小企業団体中央会 茨城産業会議（茨城県商工会議所連合会・茨城県商工会連合会 ・茨城県中小企業団体中央会・一般社団法人茨城県経営者協会） 一般社団法人千葉県経営者協会、千葉県中小企業家同友会

**事業概要**

この取組は、地域でインターンシップ等を推進する組織、団体等と連携し、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を伸ばし、社会変化に対応できる就業力の高い人材を育成する教育改善・改革を推進した。また、本グループでは、各大学が地元団体と密に連携を図りながら活動できる体制として県単位の「県インターンシップ推進委員会」をサブ組織として設置し、多様な情報の共有と活用を推進、産学連携によるインターンシップ等の、地域性と広域性の両面を活用できる体制ができ、インターンシップ拡大推進を図り目標達成（109%）を実現した。※詳細はグループ HP 参照 <http://www.kanetsu-gp.jp/>。



**最終評価結果＜総合評価＞ S**

《コメント》

当初の計画と比べ、連携校を大幅に増加（15校）し、体制が強化された点を特に評価する。県域単位の「インターンシップ推進委員会」において各県毎に精力的に活動するとともに、「インターンシップフォーラム」やインターンシップ情報サイトの構築等を通じて、全体での情報共有や連携、状況把握が適切に行われた。また、企業とのマッチング等を行うコーディネート人材の育成に努めた結果、参加学生数の目標を達成することができた。広域の複数県での連携ではあるが、幹事校のリーダーシップと各校の主体性により、地道で実践可能な取組が実施され、地域間、大学間連携事業の模範となる取組である。今後の事業継続体制も協定書を締結するなど具体的に整備されており、期待できる。

一方で、地域の隔たりの影響から、全体的に総体的な取組にならざるをえず、また、活動は充実し、実績は出ているものの、実績を生み出した成功要因の分析には不十分な部分があり、具体的な効果が分かりにくい点は課題である。

今後は本事業の成果や各地域の特性を十分に生かすとともに、グループ内のキャリア教育・インターンシップにおける実績校のノウハウを共有し、より具体的で有効な取組が継続されることを期待する。また、評価の体制について、KPIの指標や、定性的評価の在り方等、更なる充実を求めたい。